

建設新聞



発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号

編集部 4602

FAX217-4170

編集事業部 4603

FAX221-4637

営業部 4604

FAX268-6416

総務部 4605

FAX221-4633

編集事業部情報室 4606

FAX221-4637

©建設新聞社2024

東北工業大学

解体する5号館の軌跡振り返る

創立60周年ホームカミングデー

東北工業大学(樋口龍雄
理事長)は6月29日、大学
創立60周年を記念して、

渡邊学長



ホームカミングデー「あり
がとう5号館・さようなら
5号館」を八木山キャンパ
ス内で開催した。当日は、
建て替えに伴い解体する同
キャンパス5号館の歴史の
振り返りや、5号館と20
22年秋に完成した実験・
教育棟Teach-Lab
(てくらぼ)の見学などを
行った。

式の冒頭、渡邊浩文学長
は60周年を迎えたことにつ

いて「これまでに卒業した
4万人に及ぶOB・OGの
活躍こそが本校の建学の精
神『わが国、特に東北地方
の産業界で指導的役割を担
う高度の技術者を養成す
る』の成果だと考える。こ
れからの活躍も期待してい
る」とあいさつ。その後、
石井敏副学長兼建築学部長
が5号館の建築の特徴や宮
城県沖地震による被害およ
び、復旧の軌跡などを振り
返った。また、「5号館の
思い出」と題し、志田正男
名誉教授や菊地良覺名誉教
授らが5号館の歴史を語り
ながら謝辞を述べた。

最後に同大学と宮城学院
女子大学の吹奏楽部による
演奏および、参加者全員に

5号館前で記念撮影



よる大学歌斉唱を行い閉会
となった。

閉会後は5号館前で記念
撮影をし、5号館とてくら
ぼを見学した。

として活用する、
てくらぼはS造4
階建て、延べ63
70・33平方メートル。
佐藤総合計画の設
計・監理、清水建
設・仙建工業・阿
部和工務店JVの
施工で22年9月に
完成した。1・2
階は建築・土木系、
3階は電気電子・
情報通信・物理系、
4階は水質・化学
系のそれぞれの実
験室を中心としたフロアと
なっている。内装では、設
備配管や建築構造、素材を
「見える化」。1階はガラス
カーテンウォールで「見え
る実験室」にして、学生の

興味を引き出す設計に。ま
た、八木山の地形を活かし
て、室内に通風を促す外壁
にするといった工夫などを
施した。

見学していた同校OBの
佐藤さんは「東日本大震災
時に自分を守ってくれた5
号館が無くなるのは寂しい
思いがあるが、新しい実験・
教育棟ができてこれからが
楽しみ」と話した。

解体工事はこれからアス
ベスト調査などを行った
後、7月中旬にも内部解体
に着手する。外部は計7工
区に分け、25年6月の解体
完了を目指す。解体工事も
清水建設・仙建工業・阿部
和工務店JVが担当する。